



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月3日
東

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所
 コード番号 4975 URL <https://www.jcu-i.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 小澤 惠二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略室長 (氏名) 井上 洋二 (TEL) 03-6895-7004
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,424	△3.7	4,951	5.3	4,992	6.8	3,403	2.4
2020年3月期第3四半期	16,021	△18.0	4,701	△13.9	4,675	△15.3	3,324	△16.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,888百万円(14.5%) 2020年3月期第3四半期 2,522百万円(△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	128.66	—
2020年3月期第3四半期	122.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,549	25,900	82.1
2020年3月期	33,039	25,327	76.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 25,900百万円 2020年3月期 25,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.50	—	25.00	48.50
2021年3月期	—	25.00	—		
2021年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△1.4	6,400	1.6	6,500	4.2	4,450	0.8	168.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 1社(社名) JCU科技(深圳)有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	27,865,318株	2020年3月期	27,856,115株
2021年3月期3Q	1,608,286株	2020年3月期	1,317,653株
2021年3月期3Q	26,451,760株	2020年3月期3Q	27,032,893株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済萎縮が継続する中で、緊急事態宣言の解除後は回復基調にありましたが、その後の感染再拡大を受け消費が低迷しました。輸出は各国の経済活動の再開による外需の持ち直しを受け、中国向けを中心に回復基調に転じました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が懸念されることから、企業の設備投資の動きは慎重姿勢が強まりました。

海外においても、米中貿易摩擦の長期化による景気低迷に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界的に経済活動が制限された影響を強く受け、消費需要は急減速しました。中国において製造業は生産稼働が復旧し、政府の経済政策の下支えにより景気は回復傾向にあるものの、国内外ともに感染収束時期が見通せない中、再拡大の不安も出てきており予断を許さない状況が続いています。

当社グループを取り巻く事業環境は、5G（第5世代移動通信システム）の商用化に向けた整備が進み、基地局、データセンター等のインフラ、及び高機能電子デバイス向けのプリント基板及び半導体パッケージ基板の需要は増加しましたが、米中貿易摩擦及び諸外国の経済活動停滞により、自動車産業やスマートフォン市場の低迷は継続しました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比
売上高	16,021百万円	15,424百万円	3.7%減
営業利益	4,701百万円	4,951百万円	5.3%増
経常利益	4,675百万円	4,992百万円	6.8%増
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,324百万円	3,403百万円	2.4%増

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

電子分野

中国 スマートフォンの販売台数は減少しましたが、5G基地局に使用されるアンテナ用プリント基板や、5G対応の監視カメラ用プリント基板の需要が増加し、ほぼ横ばいに推移しました。

台湾 高機能電子デバイス向けプリント基板、サーバー向け半導体パッケージ基板の需要増加、及びスマートフォンの新機種発売に向けた量産稼働が寄与し、好調に推移しました。

韓国 半導体パッケージ基板の需要は増加しているものの、一部のプリント基板メーカーがHDI（高密度配線）基板事業を撤退したことによる第2四半期までの減少分をカバーできませんでした。

装飾分野

日本 自動車業界は回復の兆しはあるものの、第2四半期までの減少分をカバーできませんでした。

中国 自動車部品メーカーの生産稼働は、新型コロナウイルス感染症の影響からは回復基調にありましたが、自動車部品の在庫調整があり、低調に推移しました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比
売上高	14,304百万円	13,752百万円	3.9%減
セグメント利益	5,548百万円	5,678百万円	2.3%増

(装置事業)

新型コロナウイルス感染症の影響により自動車部品メーカーの設備投資需要が減少し、受注高は大幅に減少しました。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年12月31日)	前年同期比
売上高	1,696百万円	1,663百万円	2.0%減
セグメント損失(△)	△62百万円	△54百万円	—
受注高	1,893百万円	733百万円	61.3%減
受注残高	1,495百万円	319百万円	78.6%減

(その他事業)

その他事業におきましては、売上高は9百万円（前年同期比54.9%減）となり、セグメント損失は51百万円（前年同期はセグメント損失62百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 3 四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,490百万円（4.5%）減少し、31,549百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金は増加したものの、受取手形及び売掛金の減少により590百万円（2.4%）減少し、23,658百万円となりました。

固定資産は、主に投資有価証券の減少、繰延税金資産の減少により899百万円（10.2%）減少し、7,891百万円となりました。

(負債)

当第 3 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,063百万円（26.8%）減少し、5,648百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少、電子記録債務の減少、法人税支払いによる未払法人税等の減少により1,658百万円（28.7%）減少し、4,115百万円となりました。

固定負債は、主に確定拠出年金制度への移行に伴う移行金の支払いによる「その他」に含まれる長期未払金の減少により405百万円（20.9%）減少し、1,533百万円となりました。

(純資産)

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金支払いによる利益剰余金の減少、買付取得による自己株式の増加、為替換算調整勘定の減少の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ573百万円（2.3%）増加し、25,900百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中期的には海外市場を中心に、5G（第5世代移動通信システム）の本格化、IoTに関連した通信機器の需要増加が見込まれ、プリント基板向け薬品の販売は増加傾向、自動車向け薬品の販売は堅調に推移するものと予想されます。一方、国内市場においては、薬品の販売は微増と予想されます。

このような状況下、既存シェアの維持及び拡大のために、技術サポートの強化に加え、次世代技術に対応した高性能薬品の開発等、顧客ニーズに適合した新製品の早期市場投入を図ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,929,727	14,400,220
受取手形及び売掛金	8,282,863	6,995,349
商品及び製品	1,563,924	1,426,210
仕掛品	58,190	50,657
原材料及び貯蔵品	454,653	438,348
その他	1,138,508	497,820
貸倒引当金	△178,584	△150,319
流動資産合計	24,249,283	23,658,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,410,259	3,318,339
機械装置及び運搬具（純額）	590,305	786,547
工具、器具及び備品（純額）	475,603	445,884
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	65,927	59,272
建設仮勘定	571,003	176,447
有形固定資産合計	5,635,922	5,309,315
無形固定資産		
その他	40,537	65,628
無形固定資産合計	40,537	65,628
投資その他の資産		
投資有価証券	1,916,422	1,808,692
繰延税金資産	782,095	317,880
その他	415,410	389,673
投資その他の資産合計	3,113,928	2,516,247
固定資産合計	8,790,389	7,891,190
資産合計	33,039,673	31,549,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,196,470	538,261
電子記録債務	976,582	769,044
短期借入金	98,738	249,182
1年内返済予定の長期借入金	441,528	433,864
リース債務	11,716	12,101
未払法人税等	807,338	364,167
賞与引当金	419,314	308,503
工事損失引当金	—	4,843
前受金	108,266	98,240
その他	1,713,992	1,337,027
流動負債合計	5,773,947	4,115,237
固定負債		
長期借入金	706,678	695,493
リース債務	87,922	78,798
退職給付に係る負債	67,233	68,140
繰延税金負債	28,038	24,640
資産除去債務	242,321	244,318
その他	806,249	422,025
固定負債合計	1,938,443	1,533,417
負債合計	7,712,391	5,648,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,220,259	1,235,517
資本剰余金	1,172,720	1,176,972
利益剰余金	25,851,911	27,931,244
自己株式	△2,999,938	△3,999,934
株主資本合計	25,244,952	26,343,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,987	130,769
為替換算調整勘定	△14,229	△573,747
その他の包括利益累計額合計	69,758	△442,978
非支配株主持分	12,570	—
純資産合計	25,327,281	25,900,821
負債純資産合計	33,039,673	31,549,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	16,021,398	15,424,709
売上原価	6,081,898	5,654,591
売上総利益	9,939,500	9,770,118
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,738,191	1,681,178
賞与	507,946	502,539
退職給付費用	96,046	99,918
減価償却費	301,038	324,460
貸倒引当金繰入額	4,574	—
その他	2,590,556	2,210,516
販売費及び一般管理費合計	5,238,353	4,818,614
営業利益	4,701,147	4,951,503
営業外収益		
受取利息	63,501	45,540
受取配当金	27,745	27,170
貸倒引当金戻入額	—	25,333
その他	78,700	63,663
営業外収益合計	169,947	161,706
営業外費用		
支払利息	10,363	7,723
為替差損	82,226	40,023
持分法による投資損失	60,233	52,353
その他	43,185	20,896
営業外費用合計	196,009	120,997
経常利益	4,675,085	4,992,213
特別利益		
固定資産売却益	759	2,113
投資有価証券売却益	29,209	—
子会社清算益	—	60,617
特別利益合計	29,969	62,730
特別損失		
固定資産売却損	306	1,272
固定資産除却損	11,857	969
減損損失	16,231	77,424
特別損失合計	28,394	79,666
税金等調整前四半期純利益	4,676,660	4,975,277
法人税、住民税及び事業税	1,097,581	1,135,516
法人税等調整額	254,885	435,585
法人税等合計	1,352,467	1,571,102
四半期純利益	3,324,193	3,404,175
非支配株主に帰属する四半期純利益	184	854
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,324,008	3,403,320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,324,193	3,404,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,026	46,781
為替換算調整勘定	△750,508	△442,003
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,317	△120,369
その他の包括利益合計	△801,852	△515,591
四半期包括利益	2,522,340	2,888,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,522,507	2,890,584
非支配株主に係る四半期包括利益	△166	△2,000

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年8月4日の取締役会決議に基づき、自己株式290,200株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が999,762千円増加しました。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,999,934千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,304,322	1,696,473	16,000,795	20,603	16,021,398	—	16,021,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	457	—	457	—	457	△457	—
計	14,304,780	1,696,473	16,001,253	20,603	16,021,856	△457	16,021,398
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,548,305	△62,153	5,486,151	△62,720	5,423,431	△722,284	4,701,147

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△722,284
合計	△722,284

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失16,231千円は、主に遊休資産にかかるものであり、報告セグメントに配分しておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,752,094	1,663,321	15,415,415	9,293	15,424,709	—	15,424,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	322	1,531	1,854	—	1,854	△1,854	—
計	13,752,417	1,664,852	15,417,269	9,293	15,426,563	△1,854	15,424,709
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,678,267	△54,545	5,623,721	△51,114	5,572,607	△621,103	4,951,503

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	2,019
全社費用※	△623,123
合計	△621,103

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失77,424千円は、主に研究開発用資産にかかるものであり、報告セグメントに配分しておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。